

浜の活力再生プラン
令和6～10年度
第3期

1 地域水産業再生委員会

組織名	香川県地域水産業再生委員会 中讃地区部会
代表者名	部会長 木下一彦（宇多津漁業協同組合代表理事組合長）

再生委員会の 構成員	松山漁業協同組合、坂出市漁業協同組合、与島漁業協同組合、宇多津漁業協同組合、本島漁業協同組合、中讃西部漁業協同組合、白方漁業協同組合、多度津町高見漁業協同組合 坂出市、宇多津町、丸亀市、多度津町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 香川県中部地域（坂出市、宇多津町、丸亀市、多度津町）</p> <p>[漁業の種類] 小型機船底びき網漁業（146経営体）、さわら流しさし網漁業（85経営体）、建網（271経営体）、ノリ養殖業（5経営体）、カキ養殖業（11経営体） 計518経営体（R4年度時点）</p>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 地域の現状

（1）関連する水産業を取り巻く現状等

中讃地域は備讃瀬戸に位置し、島々と狭隘な瀬戸部からなっていることから、潮流は速く、上下混合が起きやすく成層が形成されない水域である。底質は砂泥質の所が多く、かつては瀬戸内海有数の広大な藻場を擁する海域であった。

漁業種類については、小型機船底びき網、敷網、さし網などの漁業が主要な漁業として営まれているほか、一部の地域では、ノリ養殖業やカキ養殖業が営まれている。

[漁船漁業]

当地域は、本島、与島など島嶼部に基盤を持つ漁業者が多く、漁船漁業を営む経営体の多い地域である。そのため、近年の漁業コストの上昇、漁獲量の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

また、大半の漁業者は資源管理には取り組んでいるものの、積立ぷらすなどの漁業収入安定対策事業を活用している者が少なく、漁業収入は不安定な状況にある。

[養殖業]

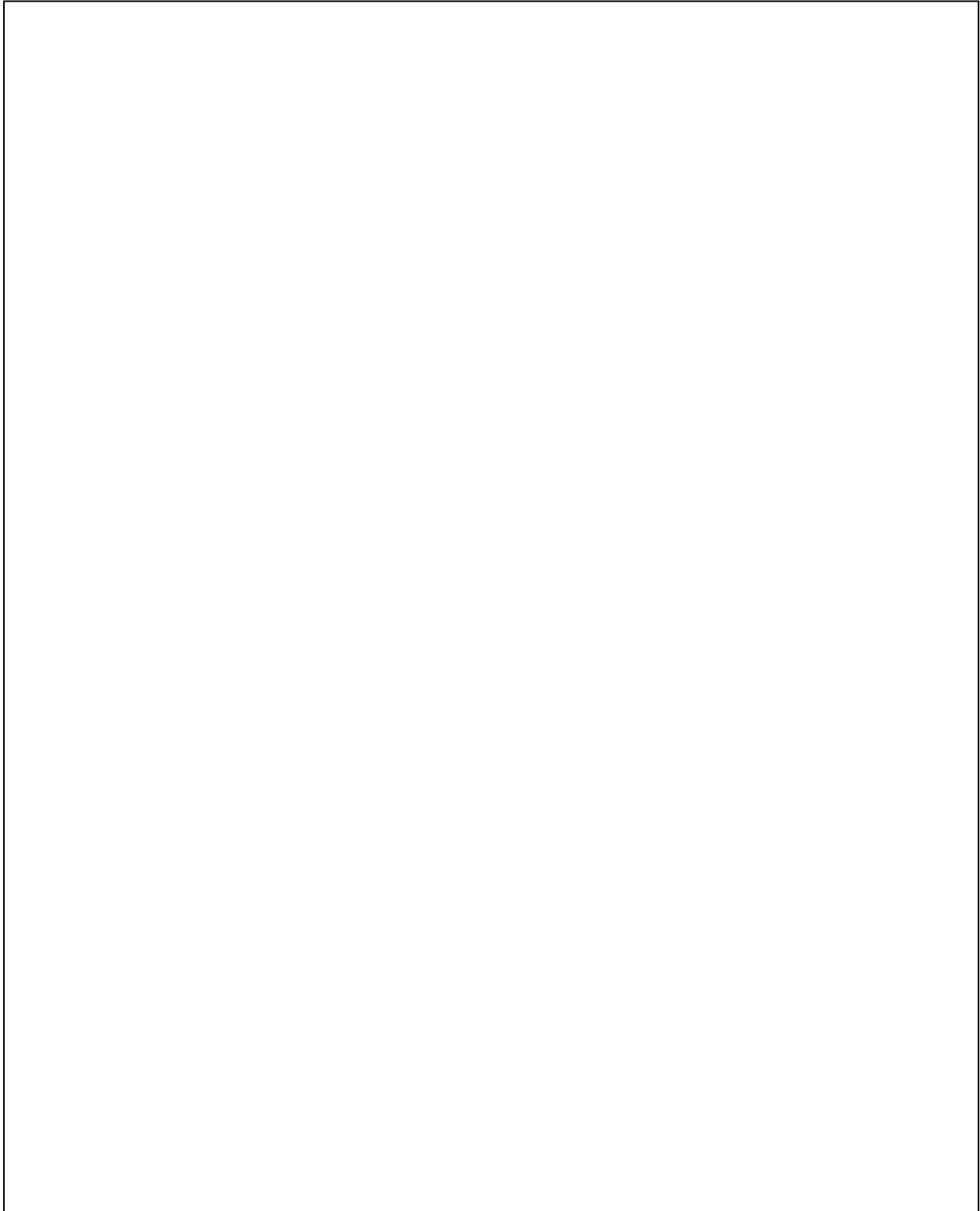
ノリ養殖については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。中讃地区も例外ではなく、経営体の減少は進んでいる。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、クロダイ等の魚類や鳥類による食害、漁業コストの向上により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

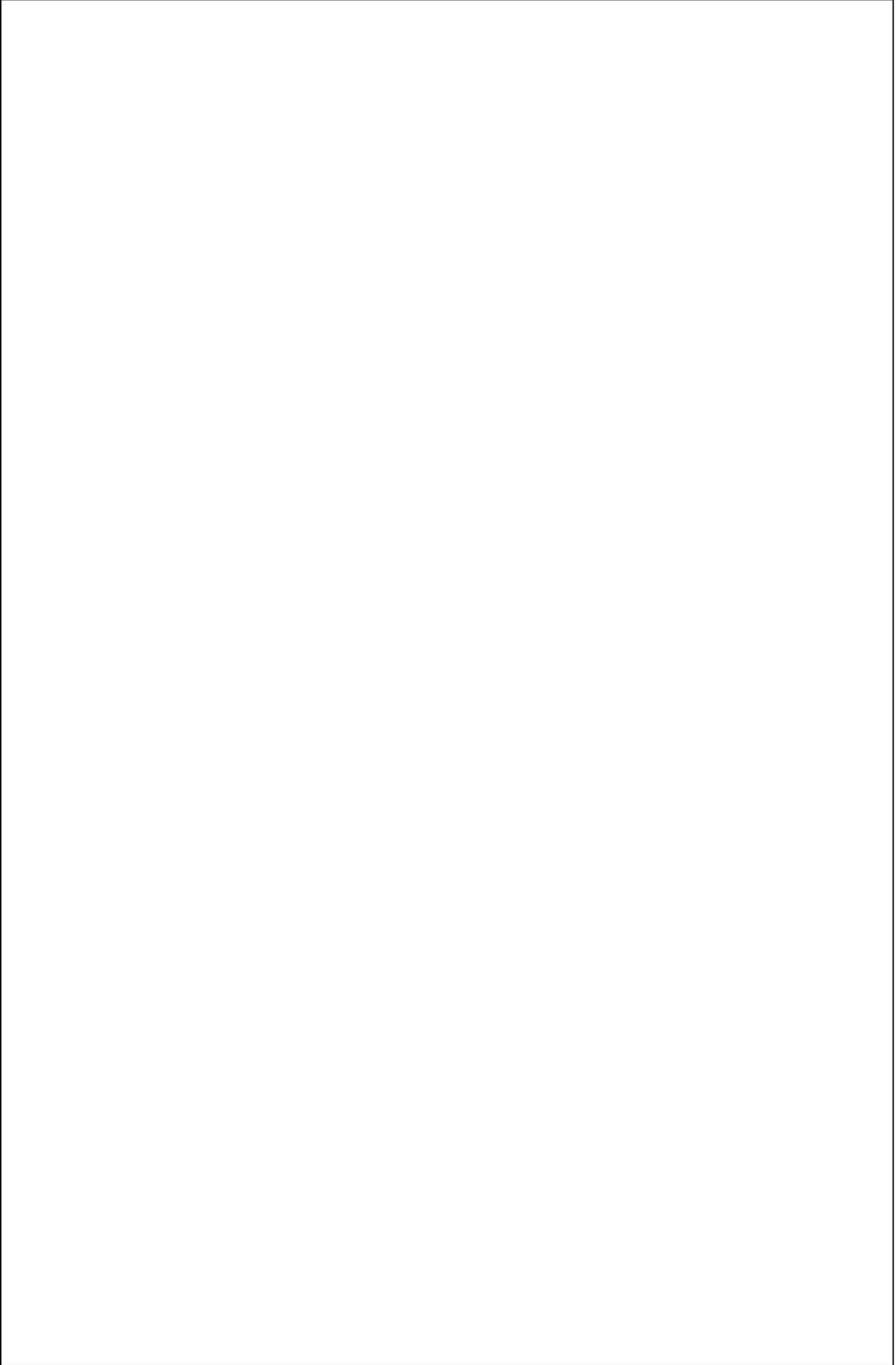
(2) その他の関連する現状等

- ・『海の幸ふれあい市場』は、市場として機能するだけでなく、水揚げされたばかりの新鮮な海鮮料理が食べられる食堂や鮮魚店を併設していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり来客者が急減したため一般客を対象とした鮮魚店及び海鮮食堂の営業を終了した。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○漁業収入の向上

(第1～2期で取組効果があり、継続・拡大する取組)

- ・瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進

国内外から訪れる観光客を漁村地域にも呼び込み、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供することや、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外に発信し、販路拡大に取り組む。

- ・養殖業の振興

ノリ養殖においては、栄養塩低下等による色落ちや食害による現状が増加傾向にあり、漁場条件に合わせた養殖技術の開発等に取り組むとともに、協業化について検討を進め、品質向上や生産の安定化と経営の効率化を促進する。

地元で採れたノリを加工した特産品（通販が可能となる保存食品等）について、地元企業等と連携しながら、開発検討に着手し、併せて販売先についても検討する。

カキ養殖においては、夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興するため、出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして高付加価値化に努めるとともに、販路の拡大と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。

- ・収入の安定化

燃油の高騰、漁場資源の減少等漁業経営を取り巻く状況が悪化するとともに、漁業就業者の高齢化、漁業生産構造の脆弱化が進行しているため漁業共済、積み立てぷらす等の仕組みを活用し、収入の安定化に引き続き取り組む。

- ・浜の多面的機能発揮

漁業者等が行う水産業・漁村のもつ多面的機能発揮に資する活動や稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を通して、環境・生体系の維持・回復等に努め、漁村が有する多面的な機能の発揮に努める。

(第1～2期の取組内容を踏まえ、終了する取組み)

- ・市場を活用した誘客・販売促進

地区内では『海の幸ふれあい市場』と近隣ホテル業者が連携し、修学旅行生を対象とした水産教室を開催しており、地区内の漁業者は当該水産教室のタッチプールに使われる魚等の提供に協力していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、海の幸ふれあい市場でのイベントの開催が難しくなった。新規の取組である地元水産物の認知度向上及び消費拡大の中で地元水産物のPRに取り組む。

(新規の取組)

- ・地区内漁業者が利用できる加工場等施設の整備

整備してから長期間経過し、老朽化している施設が多いため、漁業活動に関して必要な施

設整備に取り組む。

- ・地元水産物の認知度向上及び消費拡大

地元水産物を利用した加工品や未利用魚・低利用魚の加工品の開発を行うことで、認知度向上及び消費拡大を図る。また、イベントや食育教室等に積極的に参加し、地元水産物のPRに取り組む。

- ・新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進

漁協等は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進する。

○漁業コスト削減

- ・省燃油対策の継続

燃料費の削減を図るため、減速航走や船底清掃等の省燃油操業を継続的に取り組むよう努める。

- ・魚箱の共同購入による仕入れコストの削減

ALPS 処理水海洋放出の影響を乗り越えるための漁業者支援事業の一環として、持続的な漁家経営を図るために、魚箱の共同購入により、仕入れコストを削減し、資材費等のコスト削減を促進する。

- ・省エネ機器の導入促進

燃料費や光熱費の削減を図るため、省エネ機器（漁船用エンジン・冷凍機等）の導入を促進し、光熱費等のコスト削減を促進する。

○漁村活性化の取組

- ・漁業担い手確保

漁業の経験や知識のない者であっても、安心して漁業就業できるような体制づくりのために、就労サポート制度の情報提供等に努め、新規就業者の増加が図られるように努める。

(3) 資源管理にかかる取組

香川県資源管理方針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理協定に基づき、漁獲努力量の削減に努め、たうえで資源管理目標を設定し、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行う。また、協定の有効性について、香川県資源管理協議会が評価・検証するとともに、認定した協定について、県水産課HPにて公表する。

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和 6 年度）所得向上率（基準年比）7.58%

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上の
ための取組

○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進

- ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。 ○地区内漁業者が活用できる加工場等施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協等は、地区内の漁業者が漁業活動を行うのに必要な施設等の整備を検討する。 ○養殖業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、新規漁業として、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興に向け、養殖体制作り等に取り組む。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組む。また、アオノリ種苗の安定生産に努める。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 ○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生委員会は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 ○漁港機能強化等の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、

	<p>仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる 10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村の活性化のための取組	<p>○漁業担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課等は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・地域特産物開発支援事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

2 年目（令和 7 年度）所得向上率（基準年比）8.19%

漁業収入向上のための取組	<p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、食材提供やメニュー開発等により、情報地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、『海の幸ふれあい市場』に修学旅行生や団体客を誘致するため、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、販売促進を図る。 <p>○地区内漁業者が活用できる加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協等は、地区内の漁業者が漁業活動を行うのに必要な施設等の整備を検討する。 <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、むき身、殻付きともに品質が高い漁獲物を生産し、県内量販店を中心に差別化して販売することにより、収益力を向上させる。 ・新規漁業として、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興する。出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組む。また、アオノリ
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>種苗の安定生産に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 <p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生委員会は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>○漁業担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課等は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業

	<p>[国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3年目（令和8年度）所得向上率（基準年比）8.79%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。 ○地区内漁業者が活用できる加工場等施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 ○養殖業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、むき身、殻付きともに品質が高い漁獲物を生産し、県内量販店を中心に差別化して販売することにより、収益力を向上させる。 ・新規漁業として、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興する。出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産の実施を検討する。また、アオノリ種苗の安定生産に努める。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生委員会は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村の活性化のための取組	<p>○漁業担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課等は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

4年目（令和9年度）所得向上率（基準年比）9.40%

漁業収入向上のための取組	<p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、引き続き販売促進を図る。 ・「瀬戸内国際芸術祭」を契機に、国内外から訪れる多くの観光客を統合市場や漁村地域に呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を認知度の向上を目指す。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>国内外へ情報発信することにより、販路拡大を目指す。</p> <p>○地区内漁業者が活用できる加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を検討する。 <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、むき身、殻付きともに品質が高い漁獲物を生産し、県内量販店を中心に差別化して販売することにより、収益力を向上させる。 ・新規漁業として、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍体カキの養殖を振興する。出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。また、アオノリ種苗の安定生産に努める。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 <p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生委員会は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。 <p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村の活性化のための取組	<p>○漁業担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課等は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（令和10年度）所得向上率（基準年比）10.01%

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>○瀬戸内国際芸術祭及び統合市場を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和10年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、食材提供やメニュー開発等により、情報地域内の全漁業者が市場関係者、観光協会等と連携して、『海の幸ふれあい市場』に修学旅行生や団体客を誘致するため、積極的な情報発信を行い、体験型のイベント等により、販売促進を図る。 <p>○地区内漁業者が活用できる加工場等施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、地域内の全漁業者とともに、漁獲物の魚価向上を図るため、活魚出荷時期の調整する施設やフィレや切り身等に加工する施設等の整備を行うための準備を進める <p>○養殖業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、既に商標登録を行っている白方カキについて、むき身、殻付きともに品質が高い漁獲物を生産し、県内量販店を中心に差別化して販売することにより、収益力を向上させる。 ・新規漁業として、従来では出荷できなかった夏季でも出荷できる三倍
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>体カキの養殖を振興する。出荷時期や実入りの良さ等の差別化された特長を生かして、販路の開拓と高価格の販売を図り、漁業収入の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・事業化されたアオノリ養殖について、高品質化、効率化のための施設整備や漁場管理を実施し、更なる単価向上に取り組むとともに、東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。また、アオノリ種苗の安定生産に努め、県内でのアオノリ生産の安定を目指す。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや藻礁、魚礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取組を実施する。 <p>○新たな魚種を獲るための漁網等の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生委員会は、水産資源の変化に応じて、新たな魚種を獲るために漁業種類を追加・変更する漁業者へ、漁網、漁具、機器の導入を促進し、漁業収入の向上を目指す。また、海浜、漁港の漂流、漂着ゴミや投棄ゴミの回収・処理を促進する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年と同額程度に抑える)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚箱の共同購入による仕入れコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚出荷用発泡スチロールや海苔段ボール等を漁協単位で大量購入し、仕入単価の抑制によるコスト削減を図る。 ・漁業者が共同利用するためのダンベ等を漁協・漁連が導入し、コスト削減に取り組む。

	<p>○省エネ機器の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者には漁船用エンジンによる10%以上の省エネ、漁協・漁連には共同利用施設の冷凍機、製氷機等の省エネ機器の導入を促進し、コストの削減に努める。
漁村の活性化のための取組	<p>○漁業担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県水産課等は、就労サポート制度の情報提供等に努め、漁業の担い手確保を促進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営体人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

(5) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の漁協等とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

--

(3) 所得目標以外の成果目標

クロノリ 1 冊当たりの生産枚数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 2,897 枚/冊
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 2,941 枚/冊
新規漁業就業者数の増加	基準年	平成 30～令和 4 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 8.2 人/年
	目標年	令和 6～10 年度 5 ヶ年平均 新規漁業就業者数 9 人/年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

○漁業所得向上のサブ指標として、地区の主力養殖業であるノリ養殖において、食害対策を講じることで、ノリの安定生産・生産量の増大を図るために、クロノリ 1 冊当たりの生産枚数を指標とした。基準年の算出方法は、ノリ共販結果（平成 30 年～令和 4 年）で得た、地区毎の生産枚数と冊数を元に過去 5 年間に於ける 1 冊当たりのクロノリ 1 冊当たりの生産枚数の平均値（2,897 枚/冊）とした。

○目標年の設定は、浜の活力再生プランのノリの色落ち・食害対策の海底耕うんや防除網等の取組を実施することにより、下記のとおり、地区内のクロノリ 1 冊当たりの生産枚数の年間向上率 0.5%を設定し、プラン期間内平均値を基準より 5%向上させ、経営体数が減少している中で、品質の良いノリを生産し現状維持を目指す。

基準年：H30～R4 年度地区内クロノリ 1 冊当たりの生産枚数の平均値（2,941 枚/冊）

クロノリ 1 冊当たりの生産枚数の増加、向上割合

	枚数/冊	対基準年向上率 (%)
1 年目 (6 年度)	2,912	0.5
2 年目 (7 年度)	2,926	1.0
3 年目 (8 年度)	2,941	1.5
4 年目 (9 年度)	2,955	2.0
5 年目 (10 年度)	2,970	2.5
5 ヶ年平均	2,941	1.5

○漁村活性化の成果目標として、当地区における新規就業者数を指標とした。過去の新規漁業就業者数は、平成 30 年度：7 人、令和元年度：6 人、令和 2 年度：10 人、令和 3 年度：10 人、令和 4 年度：8 人（5 年累計 41 人）となっている。香川漁業塾といった就労サポート制度促進等を通して、新規就業者を増やすことで、毎年度 9 人以上の新規就業者の増員（累計 45 人）を図ることを目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営体人材育成総合支援事業 [国] 	<p>意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] 	<p>沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの） [国] 	<p>水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を図ることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 [国] 	<p>長期にわたる ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるため、海浜清掃、省燃油活動、魚箱の共同購入、省エネ機器の導入等、漁業者の創意工夫による取組を行うことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の支出の削減に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県] 	<p>水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] 	<p>ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産物開発支援事業 [県] 	<p>地域特産物開発支援・特産水産物開発研究を進めることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>